

漢方と現代病

8

漢方の体質改善から

偏頭痛や頑固な頭痛を改善！



中国漢方医師
医学博士
侯殿昌先生

1963年中国山東省生まれ。85年中国維坊医学院臨床医療学部卒業。94年東北大学医学部留学。99年同大大学院にて医学博士号を取得。専門：難病、がんの漢方治療。現在、国際伝統現代結合腫瘍学会(SIO)会員、日本統合医療学会(JIM)会員、日本東洋医学会会員、日本小児東洋医学会会員。

懷仁堂漢方薬局 福島店

<http://www.kajindou.com/>

- 住所 福島市万世町2-8 P/有り
- 電話 024-526-2581
- 相談日 【要予約】
毎週月曜日、水曜日
- 営業時間 AM10:00~PM6:00
- 定休日 土曜日、日曜日、祝日
- 仙台店 ☎022-718-5858
- 山形店 ☎023-632-8007

漢方の頭痛の治療法

漢方医学からみた頭痛

漢方医学からみると、頭痛は2種類に分けられます。

頭痛は国民病とまで言われ、日本人の約8%は偏頭痛で悩んでいるそうです。鎮痛剤を服用して最初は効き目がありますが、だんだん効果がなくなり、次第に薬の量や種類、強さが徐々に増していくという悪循環に陥り、数十年あるいは一生苦しんでいる方もいます。

頭痛の原因

頭痛の症状は様々ですが、西洋医学では脳の血管のはれによるのは代表的な「偏頭痛」、ストレスや精神的な緊張によるのは「緊張性頭痛」、そのほかには、女性の生理前の頭痛、原因不明の頑固な頭痛などもあります。また、検査をしても著しい異常がない場合なども少なくありません。

① 『外感頭痛』…頭痛の時間は短く、繰り返ししません。この場合の原因は寒・熱・湿の「風邪」で、例えば風邪の高熱時に頭痛もあります。

② 『内傷頭痛』…「内傷」とは体の中の傷ではなく、気血虚・腎虚・肝陽上亢・痰濁・血瘀からくる「頭の中」の原因でもなく、体質から頭痛を起こします。この場合は、ほとんど期間が長く、繰り返します。また、ほかの全身の症状もあり、例えばめまい・不眠・耳鳴り・不安・動悸・吐き気・生理不順などがあります。

当然、昔の人も頭痛で悩んでいました。したがって昔の漢方医は頭痛の治療について、ずいぶん研究をしました。それにより優れた効果のある頭痛の処方が見つかり、例えば日本漢方薬指針に紹介されている処方（出典…1615年、中国明の時代の「寿世保元」）は、14種類の生薬で構成され「一切の頭痛の主方であり、多くの場合用いることのできる頭痛薬である」と書いてあります。

当薬局では、この処方を元にして、さらに現代の一人一人の体質・体格・体調・症状に合わせて調合する煎じ漢方薬を用いることにより、効果を得ることができています。

長期間、頭痛などで悩んでいる方は、まずは現在服用中の鎮痛剤と一緒に、体質改善の漢方薬を併用してみることがおすすしめします。